

寄贈救急自動車事業について

救急企画室

1. はじめに

「平成30年中の救急出動件数等（速報値）」によると、救急自動車による救急出動件数は660万5,166件（対前年比26万3,019件増、4.1%増）、搬送人員は596万202人（対前年比22万4,116人増、3.9%増）で救急出動件数、搬送人員ともに過去最多を記録しました（図1参照）。

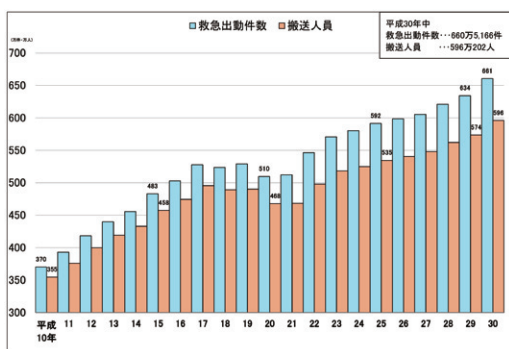


図1：救急自動車による救急出動件数及び搬送人員の推移（「平成30年中の救急出動件数等（速報値）」より）

しかし、平成30年版の救急救助の現況によると、前年比の救急隊の増加は0.8%、救急自動車の増加は0.9%にとどまり、増大する救急需要に十分に対応できるだけの救急隊、救急自動車の台数の確保には至っていません（表1参照）。一方、高規格救急自動車の配備率は全国の消防本部でいまだ100%にはなっておりません。また、高規格救急自動車を導入していても、地域の財政状況により救急自動車の更新を満足に行えない消防本部もあります。

救急隊数の推移 (単位: 隊)								
区分	年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
救急隊数		4,965	5,004	5,028	5,069	5,090	5,140	5,179
対前年増減数		38	39	24	41	21	50	39
対前年増減率(%)		0.8	0.8	0.5	0.8	0.4	1.0	0.8

救急隊自動車数の推移 (単位: 台)								
区分	年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
救急自動車数		6,054	6,073	6,114	6,184	6,210	6,271	6,329
高規格車数		(5,388)	(5,521)	(5,654)	(5,769)	(5,872)	(5,972)	(6,105)
対前年増減		51	19	41	70	26	61	58
高規格車数		(184)	(133)	(133)	(115)	(108)	(100)	(128)
対前年増減率(%)		0.8	0.3	0.7	1.1	0.4	1.0	0.9
高規格車数		(3.5)	(2.5)	(2.4)	(2.0)	(1.9)	(1.7)	(2.1)

表1：救急隊数及び救急自動車数の推移（平成30年版救急・救助の現況から抜粋）

2. 寄贈救急自動車事業とは

寄贈救急自動車事業とは、全国の消防本部に高規格救急自動車を配備することで、各地域における救急業務の

高度化、救急業務体制の更なる充実を図ることを目的に民間事業者から高規格救急自動車を寄贈していただく事業です。消防庁では、寄贈元となる一般社団法人 日本自動車工業会、一般社団法人 日本損害保険協会及びアステラス製薬株式会社の3団体に対して寄贈先となる消防本部の推薦を行っています。過去の寄贈救急自動車台数は、平成31年4月1日現在、上記の3団体から2,674台となります。

昨年寄贈元である3団体は、約50年間にわたる寄贈救急自動車事業への多大な功績をたたえ、総務大臣から感謝状を贈呈されました。また、寄贈を受けた消防本部からは、「高規格救急車の寄贈により、地域の救命率向上や職員の向上心にも繋がる」など、寄贈元である3団体へ感謝の言葉が寄せられています。

平成30年度に寄贈された救急自動車



一般社団法人 日本自動車工業会 寄贈
(始良市消防本部(鹿児島県)提供)



一般社団法人 日本損害保険協会 寄贈
(富士宮市消防本部(静岡県)提供)



アステラス製薬株式会社 寄贈
(上益城消防組合消防本部(熊本県)提供)

3. おわりに

今年度も、一般社団法人 日本自動車工業会、一般社団法人 日本損害保険協会及びアステラス製薬株式会社の3団体から高規格救急自動車を寄贈される予定です。この寄贈救急自動車事業を通じて、各地域における救急業務の高度化、救急業務体制の更なる充実が図られ、そして救命率の向上に繋がることが期待されます。

問い合わせ先

消防庁救急企画室 三島、堤、市川
TEL: 03-5253-7529